

富永三千敏

魚沼市議会活動報告

No.6,7

平成 29 年 2 月発行

富永 三千敏

〒 945-0085 魚沼市下折立 528
TEL 025-795-2704 FAX 025-795-2080

異常少雪ののちどか雪となり、不安定な冬の気候がつづき、市内経済が混迷しています。日頃より富永三千敏の議会活動にご指導お力添えをいただき心より厚く御礼申しあげます。現在、湯之谷小学校の建設も順調に進み 29 年 4 月の引っ越しを目指しています。また、魚沼市の新庁舎建設は基本計画改訂案が出され、これからの議論が待たれます。市民の意見を反映させながら事業が進展することを願っています。市政に関することなど皆さまのご意見お考えをお聞かせください。

平成28年 第3回定例会 9月14日「一般質問」

1. 魚沼から行く尾瀬の登山道の管理について

平成 19 年 8 月 30 日に尾瀬国立公園が誕生して以来、魚沼では「魚沼から行く尾瀬」をキャッチフレーズに様々な PR を実施してきた。

尾瀬魚沼ルートの認知度が上がり、魚沼からの入山者数は他の入山口の登山者数の推移に比べ、自然災害などの影響を除けば増加傾向にあると言える。民間と市そして県が協力しての結果だが、利用者増加の目的だけでなく、尾瀬の貴重な自然の保護のため、関係する他県・他自治体との連携がさらに必要である。

また、入山者数は平成 8 年の約 64 万人をピークに減少し、平成 17 年に半分の 32 万人になっているが、単独の国立公園となつてからは 4 県と関係自治体の様々な努力で入山者増を目指している。

貴重な自然の体験者の増加が自然保護の理解者の増加となる。そのための入山者の利便性・安全性を考えれば特に登山道の整備が欠かせない。

尾瀬国立公園内の登山道の多くは整備の状況に差はあるが管理がされており、環境省・群馬県・福島県・檜枝岐村・東京電力など多くの機関や自治体が努力している。

しかし、小沢平ルートは同じ尾瀬の中にあつて、管理が行き届いていないルートの一つである。



一般質問

問 ①魚沼から入る尾瀬の小沢平ルートだけでなく、その他の管理の届いていないルートを尾瀬に関係する他県や他自治体と登山道のあるべき姿を考え、管理を検討協議するべきと思うがどうか。②このように自然を体験するために登山道を適正に管理するというこれらの考え方は市内登山道管理に共通すると思う。市内遊歩道登山道の管理の実情はどうか。今後の管理と活用方法を問う。

答 ①尾瀬の魅力を伝えるためにも、安全性の面からも登山道の管理は重要である。環境省をはじめ関係する県や自治体と協議しながら対応を考えたい。②市内登山道は市で管理するものと地元関係者でするものがある。管理責任が明確でないものがあるため、検討したい。

2. 空き家対策について

人口減少や後継者の不在で空き家が増加しつつあり、それに対応するために「空き家等の適正管理及び有効利用に関する条例」を制定し、その後、空き家バンク制度を実施している。

問 ①空き家バンク制度の成果と登録者数の推移はどうか。バンク登録後に抹消を申請する場合がありますと聞きますが、実態と対応はどのようになっているか。

②空き家条例やバンク制度の見直しは必要でないか。

答 ①8月末の登録申請は売り登録申請が9件、貸しが5件、バンク利用登録は4名。売り成立が1件、商談中が1件、貸し物件は老朽化等で全て取り下げられた。登録後売値がつかず、登録取り下げもあったが、所有者の了解が得られるものはHPで紹介している。
②運用する中で適宜見直す。

決算質疑の一つ ▶▶▶ 地域情報通信基盤伝送路（光ケーブル）について

問 国の政策や市のICT推進計画に基づいて、全ての市民がICTの恩恵を受けられるように、未整備地域（3.4%）にも整備し光ケーブル普及率100%を目指すべきでないか。

答 地域情報基盤整備推進交付金を受けて平成21年に市が整備した対象地区世帯が5,784世帯と民間が整備した世帯を合計すると12,902世帯となり普及率は96.6%である。未整備地域は2地区ある。民間が整備できない所を整備し、地域間格差をなくすべく取り組む。

注 未整備の2地区は福山地区と宇津野以東の東湯之谷地区。ICTとは情報通信技術のこと。光ケーブルの早い通信速度でないと無線LAN設備があってもその施設内のスマホ、タブレットの利用が快適にできない。若者や外国人旅行者にとって無線LANと光ケーブルはなくてはならない地域インフラである。東京オリンピック対応やインバウンドには欠かせない。

平成28年 第4回定例会 H29年1月12日「一般質問」

1 産業活性化について

問 ①民間が元気になれば市税増になる。農業や観光業をどのように支援するか、それに必要な環境をどのように整えるか。

②商工業などの地域産業の活性化をどのように進めていくか。

③産業会館を整備してはどうか。

答 ①地域外からのお金を稼ごうとする事業主の主体的な取組や稼いだお金が地域内へ波及する仕組みづくりのほか、既存施設の活用に対する支援を考えている。

②商工業者の人材確保対策への支援を拡充するほか、若者が定住できる住環境や人材育成に力を入れ、若い世代のパワーと地元企業の成長により地域活性化を図っていく。

③既存庁舎の利活用を検討する中で参考とした。

2 事務事業評価について

問 ①根拠が明確で実効性が高い事業内容と判断するために、事務事業評価が有効であると思う。現在運用している事務事業評価シートの内容をど

のように捉えているか。

②評価シートの書式を成果指標とコストが見え、事業の方向性が分かる書式に変えるべきだが。

答 ①総合計画基本計画期間である5年間の事業実施内容と、施策への貢献度を指標で表しており、よく練られたものと思っている。

②過去10年間近くにわたり改良・改訂を続けている今後も絶えず検証し、必要に応じ改良していく。

（注）2回目以降の質問で事中評価が予算編成に有効な点を指摘し取り入れるように提案した。（魚沼市では事中評価は実施していない。）

3 情報公開の推進について

問 ①情報公開の推進のため、市のICT推進計画に基づき市民対象の講習会等を継続するべきだがどうか。

②事務や会議の効率的運営のため、全職員にタブレット導入することを検討してはどうか。

答 ①引き続き継続していく。

②紙資源や時間の削減に有用であり、今後検討する。

(1) 庁舎再編について

魚沼市庁舎再編基本計画の改訂（案） H28 第4回定例会で提出（H29,1,17）

区分	旧	新	備考
対象職員数	300名	260名	教育委員会は堀之内庁舎
庁舎延べ床面積	10,000㎡	7,000㎡	4階建て→3階建て
合計敷地面積	20,000㎡	16,000㎡	
庁舎敷地面積	2,500㎡	2,300㎡	4階建て→3階建て
公用車庫棟	1,800㎡	1,500㎡	60台→50台
来庁者駐車場	4,500㎡	3,000㎡	150台→100台
職員・議員駐車場	9,600㎡	7,200㎡	320台→240台
構内道路、緑地帯	3,500㎡	2,800㎡	敷地の20%
庁舎建築費	45億円	約30億円	
工事管理費	40,000千円	35,000千円	
設計委託料	150,000千円	150,000千円	
測量・地質調査等	30,000千円	50,000千円	
合計額	47.2億円	32.35億円	

*合併特例債は95%が充当可能。建設スケジュールは変わらず、平成31年度末に完成予定。
建設基金積立金は1,011,429千円（10億円）です。

*これから庁舎再編整備特別委員会で調査します。市による市民説明会も開催予定。

(2) 魚沼市総合ビジターセンター「かたっくり」の利活用計画

「子育ての駅」かたっくりとして活用する。

- 目的 急激な人口減少が進む本市において、特に子育て世代のための環境整備が必要なことから現在遊休中の「かたっくり」を地域全体で子育てに参加する“子育ての駅”として利活用を図り、相互に連携できる「場」づくりを行う。
- 主な機能 市民参加型親子活動支援、屋内遊技空間、学習スペース
- 対象 親子活動スペースは10才くらいまでの子どもとその親
その他のスペースは、小学校高学年から高校生
- 利用日 年末年始以外
- 専門職 なし（管理人のみ）
- サービス 自由解放、ボランティア等協力者による提供

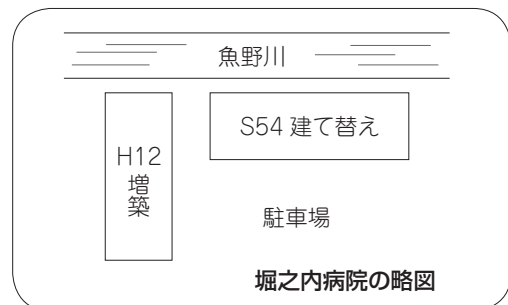
今後のスケジュール（予定）

平成29年2月 市民ワークショップ委員募集
平成29年3月 市民ワークショップ開催（6月まで）
平成29年9月 工事発注
平成30年4月 オープン

(3) 堀之内病院の役割変更について

○各病院の役割（地域全体が一つの病院）

- ・魚沼基幹病院 高度医療、救急救命センター
周産期母子医療センター
- ・小出病院 地域医療（内科・整形外科等）
- ・堀之内病院 地域医療（内科等）
- ・守門診療所、入広瀬診療所 地域医療（内科等）
- ・開業医



○堀之内病院の経過

S14 郷立堀之内組合病院

S24 堀之内町立病院

S54 鉄筋コンクリート造三階建てに

H12 療養病床増築

H27 市立小出病院開院、一般病床を小出病院に

介護老人保健施設に転換準備（H28 断念）

H29 堀之内 ICC 医療センターとする（H12 建設棟を利用）

（S54 建設の病棟は解体、敷地に高齢者施設の誘致）

○堀之内病院の今後

H29年4月から「堀之内 ICC 医療センター（仮称）」（ICC：地域包括ケア）

- ① 外来診療（内科 1 診（午前））
- ② 訪問診療・訪問リハビリテーション（週 2 回程度）

増築棟（H12 建設）の活用

1 階：診療 2 階：小規模多機能居宅介護サービスや認知症対応型グループホームの誘致（民間公募）

(4) 「魚沼市消費生活センター」の設置について

1. 設置背景

「消費生活センター」とは、地方公共団体が設置し、消費者の苦情相談や消費啓発活動、情報提供を行う機関である。

魚沼市では平成 19 年度に市民相談センターを開設以降、相談件数が増加していることから「消費生活センター」を設置し、今以上に市民の消費者トラブルの予防、解決のための迅速な取組が可能になる。

2. 目的

市民の安心安全な豊かな消費生活を営むことができる社会の実現

3. 設置年月日 平成 29 年 4 月 1 日

富永三千敏 活動の概略

月	日	曜日	内 容
H28			
4	15	金	福祉文教委員会傍聴
	26	火	総務委員会市内視察
5	2	月	庁舎再編整備特別委員会 勉強会
	9	月	議会報告会（入広瀬 穴沢）
	10	火	議会報告会（広神 四ヶ区）
	11	水	議会報告会（小出 北部）
	13	金	産業建設委員会
	25	水	JIAM 議員研修
	26	木	JIAM 議員研修
6	27	金	議会報告会実行委員会
	1	水	尾瀬山開き
	6	月	総務委員会
	14	火	第 2 回定例会初日
	16	木	第 2 回定例会
	17	金	第 2 回定例会
	20	月	総務委員会
	24	金	地域医療対策特別委員会
	26	日	新庁舎市民ワークショップ
	30	木	広報編集委員会
7	30	木	庁舎再編整備特別委員会
	1	金	第 2 回定例会最終日
	8	金	広報編集会議
	9	土	東湯之谷小学校グラウンドの草刈り
	18	月	湯之谷かっぱ村開村式
	19	火	下折立老人会奉仕活動（草刈り）
	20	水	議員研修（東京：自治体決算の基本と実際）
	21	木	議員研修（東京：自治体決算の基本と実際）
	23	土	うおぬま夏の雪まつり
24	日	うおぬま夏の雪まつり	
8	30	土	庁舎再編整備特別委員会
	9	火	福祉文教委員会傍聴
	10	水	南魚沼湯沢魚沼三議会総会
	23	火	中越地区議員研修会
9	30	火	尾瀬国立公園誕生日 尾瀬サミット台風のため中止
	1	木	R352 開通促進意見交換（関係市議）
	3	土	湯之谷中学校 体育祭
	6	火	第 3 回定例会初日
	7	水	第 3 回定例会
	13	火	第 3 回定例会 一般質問
	14	水	第 3 回定例会 一般質問

月	日	曜日	内 容
9	15	木	総務委員会
	16	金	福祉文教委員会 傍聴
	20	火	産業建設委員会（請願紹介議員として出席）
	20	火	総務委員会
	21	水	27 年度会計決算審査特別委員会
	23	金	27 年度会計決算審査特別委員会
	26	月	27 年度会計決算審査特別委員会
	27	火	庁舎再編整備特別委員会
	29	木	総務委員会（参考人招致）
	30	金	広報編集会議
10	3	月	庁舎再編整備特別委員会（参考人招致）
	4	火	第 3 回定例会 最終日
	5	水	湯之谷地域老人福祉大会
	7	金	広報編集会議
	8	土	四季の潤い里山まつり
	13	木	広報編集委員会
11	1	火	議会報告会（守門 大倉）
	2	水	議会報告会（湯之谷 芋川）
	4	金	庁舎再編整備特別委員会
	4	金	議会報告会（堀之内 大石）
	15	火	行政視察
	16	水	行政視察
	25	金	議会全員協議会
12	25	金	議会報告会実行委員会
	1	木	総務委員会
	1	木	地域医療対策特別委員会
	16	金	庁舎再編整備特別委員会
	21	水	第 4 回定例会 初日
	22	木	総務委員会
	23	金	福祉文教委員会 傍聴
27	火	産業建設委員会 傍聴	
H29			
1	4	水	賀詞交換会
	5	木	議員研修（政務活動費について）
	11	水	第 4 回定例会 一般質問
	12	木	第 4 回定例会 一般質問
	17	火	第 4 回定例会 最終日
	18	水	広報編集委員会
	24	火	広報編集委員会
	28	土	富永三千敏報告会
	30	月	広報編集委員会

魚沼市議会の本会議がインターネットで見ることができます。[魚沼市](#) → [魚沼市議会](#) → 本会議録画映像配信
また、議事録もご覧いただけます。